

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (九州)		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・年度末で、卒業や退任される方への花の注文が多く、例年よりかなり売上が増えた。噂が広まり花屋と認識されるようになり来客数も増えた。
		商店街（代表者）	単価の動き	・年度末に向け、オフィス家具などの高額商品が動いた。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	来客数の動き	・客単価は変わらないが、来客数が伸びている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が僅かに前年を上回ってきている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・当県は暖冬で、冬場の景気があまり良くなかった。ただ、その反動で3月に入ってテレビを除く全商品がそれなりの数字を稼いでいる。回復基調にある。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	来客数の動き	・来店客数が前年比で増加している。異動の時期で、個人客がギフト商品をまとめ買いする傾向があり、売上も増加している。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・新商品の見直しや売場のレイアウトを変更し、前年より若干売上が増えた。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・前年同期比で確実に客単価が上がっており、客の懐事情も良くなっている。
		都市型ホテル（販売担当）	単価の動き	・歓送迎会などの宴席利用が前年よりかなり多い。個人の財布から出るお金が増えている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・3月の京阪神方面や韓国、台湾方面の海外近場の予約が伸びてきている。特に韓国、台湾は4月以降も伸びる。ただし、インバウンドが多く、座席確保が厳しい状況も続いている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・既に次年度の相談が多い。
		通信会社（営業）	販売量の動き	・繁忙期に向けて新商品を投入し、販売促進にも費用を掛けている。新商品の浸透には時間を要すると思っていたが、滑り出しは悪くなく、客の反応も良い。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ドラマの撮影が決まり、それにまつわる企画等が急速に進んでいる。市場への影響が出る時期ではないが、雰囲気は良くなってきている。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・春休みに入り、比較的学生など若い客が多くなっている。主要観光施設の駐車場も午後には満車になるところが多い。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・少しずつ良くなってきている。おしゃれシーズンになり客の気分も少しずつ上向いている。卒業、入学、入社などで人の動きも活発になってきており、少しずつ景気も回復してきている。
		美容室（店長）	単価の動き	・3か月前と来客数は変わらないが客単価が多少良かった。卒業式に着物を着る客が多く、売上がやや良かった。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・小売店はそれほど良くないが、飲食店や卸販売店は人気アニメーションの聖地巡礼の効果でにぎわっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・3か月前は正月用品やお年玉等まとまった出費があり、きつい月となったが、現状も厳しい状況は変わらない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今月は卒業、入学、入社等で商店街も忙しい時期だが、前年比で来街客数、販売量が減っており、非常に景気が低迷している。
		一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・県外から来るサニーレタス、ブロッコリー、県内の大根、キャベツの流通が少ない割には値段が上がりきらず、前年の9割の価格である。全体的に消費量が横ばいである。
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・購入単価は相変わらず低いが、来客数は前年同月比で増えている。外交販売での売上は横ばいである。	
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・衣料品テナントの売上が第3四半期に比べやや回復傾向となったものの、飲食テナントは、特に宴会需要の取り込みが弱く、客数も減少している。	

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・集客効果の大きい催事を行ったが、天候の影響もあり、催事初日と土、日以外は来客数が伸びず、波及効果はなかった。クレジットポイント催事・新規会員入会は好調だが、金券発行による売上押し上げ効果は出なかった。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・中間層の動きがやや良くなってきている。衣料品や雑貨は今月に入って堅調に推移している。一方、富裕層の動きが鈍く、宝飾品や時計、ラグジュアリーや美術品の動きが停滞しており、横ばいといったところである。
百貨店（企画）	販売量の動き	・衣料品に関しては回復の兆しが見受けられない。
百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・ギフトや、式典・学校行事等の衣料品・雑貨については反応があるが、春物やトレンドファッションへの反応は鈍い。
スーパー（経営者）	単価の動き	・国会予算も具体的な予算などの情報が少ない。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・熊本地震で閉店していた競合店が再開し始め、前年比102%くらいで推移している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・全体的に売上は前年を下回っている。単価はともかく来客数が減少している。生鮮食品においては野菜の相場が安く、また精肉に関しては牛肉の相場が高いため、共に売上は厳しい状況である。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・競合店の新規出店や開店セール等の影響を受け、来客数が前年比で減少している。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・野菜の価格は正常に戻っているが魚、肉の販売量が落ちている。セール品への反応も鈍く、消費自体が縮小している。
コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・店舗の前で行われていた工事が終わり、工事関係の客が減った。飛び込み客が先月より増えている。客単価に関してはプラス一品の売上がまだ少ない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・商店街のアーケードが解体工事中で、ほとんど客が来ない。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客の動きを年末年始と比べると、あまり変化はない。景気が良くなっているのか悪くなっているのか、客の様子からはわからない。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・今月に関しては低温が続く気候的な要因で非常に来客数が減っている。
家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・例年、月後半に活気付くが、今年は減少している。携帯電話が前年を大きく上回ったのが救いである。
家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・ほぼ前年並みを維持している。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・年度末の需要期であり車両販売、点検作業共に毎日忙しい。
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は、高止まりした。加えて3月は自動車の販売が好調で、新しい自動車に乗換えた客もいる。また、自動車を購入し、新規客として来店している客もいる。燃料油の販売量は前年並みである。
ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・3か月前に比べ、やや売上の伸びが落ち着いている。
その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・売上動向が悪いわけでないが、停滞感が出ている。実際に来館客数は増加し、シネマや習い事等のサービス業種は好調に推移しているが、物販関連が苦戦している。ネット販売拡大の影響も少しずつ出ている。
その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	販売量の動き	・衣料品の低迷や、外国人観光客の客単価減などの傾向に変化はない。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・来客数が横ばいである。
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・3月は歓送迎会や入学祝など宴会をする行事が多く、少し良い。
観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・個人客の動きは良くなっているが、団体の動きはまだ良くない。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・先行きが不透明である。購買意欲も意外と低い。
タクシー運転手	お客様の様子	・最近外国人観光客が多いが、中国人の団体がツアーで回ってくる。そのため、タクシーを利用する状況はほとんどない。

	タクシー運転手	来客数の動き	・卒業、入学、歓送迎会等で人の動きは活発だが、期待していた以上の運収は上がっておらず景気は平行線をたどっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の送別会のタクシー需要が多いが、昼間が伸びていない。
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・入場者数は前年並みになったが、単価の高い週末はあまり良くなく、単価を下げると増える状態である。客単価が前年比で5%減である。プレー代金以外にお金を使う客が少ない。
	競輪場（職員）	競争相手の様子	・各地の記念行事の売上に変化がない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・手持ちの仕事はあるが、年度末ということもあり次の仕事が薄い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・契約もほぼ横ばいの状況が続いている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・建て売り住宅の販売を始めたが出足が悪く、2～3月があまり良くなかった。最終的に年度内に契約に至らなかったものが多く、住宅を買う動きが鈍い。
	住宅販売会社（代表）	来客数の動き	・受注は横ばいであるが新築完成見学会の来客数が減少している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月は売上が多い時期であるが、商店街は閑古鳥が鳴くほどで、来客数が減少している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の生鮮市場が再開発のため閉鎖し、来客数が激減した。高齢者が多い商店街だけに新規開店までの間、厳しい状態が続く。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・やや入出が落ちている。
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・この時期は気温に左右されることが多いが、春物の衣料品は低調である。前年よりも気温の上りが弱く、もう少し考えるという客が多い。
	百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・全般的に衣料品が良くない。食料品と雑貨でけん引している。安価の衣料品は少し良い。
	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・卒業、入学や新生活準備の需要も多い月だが、全ての物を買ってそろえるのではなく、汎用性志向や手持ちのものとの組み合わせでの買物が多い。売上高の減少は買い方の変化にも要因がある。
	百貨店（営業統括）	来客数の動き	・天候条件が厳しい。特に、最低気温が上がらず朝晩の冷え込みもあり、春物衣料品の動きが悪い。それに伴い来店客が減少している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・購入点数の落ち込みは、特に衣料品に顕著に表れている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前は良い部門と悪い部門があったが、今月は全体的に販売量が下向いている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・大手携帯電話会社の宣伝活動で、3月は毎週金曜日にホットスナックを無料配布したことにより、客数大幅増となり、売上も前年比プラスとなっている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・前年に比べて暖かくなるのが遅いことが影響している。
	衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・来客数もセット率も低下している。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・忙しい週とそうでない週がはっきりしていた。例年、3月末には送別会が行われるが、3月の4週目は多かったものの、5週目は動きがなかった。会社の動きなのか客の景気によるものなのかはわからない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今年の3月は週末の来客数が少なく、大きく前年を割っている。
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・3月は前年比で売上も単価も非常に良いが、4月は大きな団体の予約が入っていない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・思った以上に稼働率が悪く、予約状況も悪い。異動時期でもあり夜の繁華街もどちらかという悪い。
	設計事務所（代表）	お客様の様子	・客の動きが遅い。
x	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量だけでなく来客も減っている。春先は需要が伸びる時季だが、売上も来客数も大きく下がっている。歩行者の数をもみても購買意欲に乏しい状況がわかる。
x	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の中で閉店する店舗が増えてきた。来街者数も少なく不景気である。
x	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・本当に魚が売れていない。特に一般の鮮魚小売店は売れていない。スーパーマーケットがばちばちである。小売店は、病院等など大口客を持っていないと商売にならない。

	x	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・4月からの自動車税制改正の影響で販売量が減少している。
	x	音楽教室(管理 担当)	来客数の動き	・転勤や、学年が上がるなどで稽古ごとをやめる人が多い。
企業 動向 関連 (九州)		*	*	*
		農林水産業(営 業)	受注量や販売量 の動き	・外的要因が大きく、需要が強くなってきている。
		繊維工業(営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・中国での生産量の減少なのか、国内工場の縮小か、あるいは賃金の上昇や外国人研修生の減少なのか理由はわからないが、弊社には受注量が多い。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・機械設備製作部門の仕事の受注が少しずつ増えてきた。
		電気機械器具製 造業(取締役)	競争相手の様子	・車載関連、医療関連の動きが大きく影響している。受注量は増加傾向である。
		新聞社[広告] (担当者)	受注価格や販売 価格の動き	・4月から始まる都市ガスの小売全面自由化に伴う、エネルギー関連や自治体の広告が多く、前年を上回った。
		経営コンサル タント(代表取締 役)	受注量や販売量 の動き	・受注金額、件数共に伸びてきている。
		その他サービ ス[物販リ ス](支社長)	取引先の様子	・官公庁発注に影響される客が多く、次年度予算が執行される5~6月ごろから受注が発生する。年度末の仕事も順調で、各社収益を確保している。しかし前向きな投資には慎重で、新機軸となるビジネスを、各社真剣に検討している。
		農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・例年の3月は異動時期や行楽シーズンで動きが良いが、今年は例年のない寒さが影響し前年比で動きが悪い。冷凍食品メーカーも3月が決算月で在庫負担にならないような施策のため、動きが良くない。1~2月ほど悪くはないが年度計画をクリアするほどの売上は見込めない。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・季節商材を生産する中で、前年から天候に恵まれたため、安定的に原料が入荷し、計画的な生産販売ができた。
		家具製造業(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・全般的な家具の動きは、東京オリンピック開催決定後の2015~2016年にホテル新築と商業施設計画が相次いで決定したため、上向きだったが、2016年後半位から物件量も含め横ばいの状況である。一般小売家具は、ブランドを確立している高級家具販売店は売上を伸ばしているが、それ以外は前年割れの状況である。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・百貨店の受注状態は落ち込んでいる。3月の売上も減っており、安価の特注品で補った。
		金属製品製造業 (事業統括)	受注量や販売量 の動き	・年度末になり例年どおり、駆け込み売上はあるが、受注については勢いはない。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年比で受注量が増えている。今月も同じ状況であり、また決算月でもあるため2~3か月は変わらない。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・ここ数か月は変化がない。もうしばらくはこの状態が続く。
		建設業(経営 者)	取引先の様子	・客の状況も動きも変わらない。
		輸送業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・年度末ということで荷動きが良い。4月1日から情報用紙が値上げされることもあり駆け込み需要で動きが活発になっているが、景気が良いこととは別である。
		通信業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・国の制度改正に伴い、IT関連の特需要素が縮小し、受注量が減少傾向にある。
		金融業(従業 員)	取引先の様子	・スーパーマーケットの売上が伸び悩んでいるほか、旅行取扱額もやや減少してきている。一方、コンビニエンスストアやファーストフード店の売上は増加傾向にあるほか、住宅建設や自動車販売も回復してきている。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・取引先や弊社D I調査から、足元の状況は悪くない。
	金融業(営業)	取引先の様子	・建設や半導体関連などで先々まで受注を確保している企業もあるが、製造業全般では見通しの立っていない業種や企業もあり、一概には言えない。	
	金融業(営業担 当)	取引先の様子	・中小企業は全業種で人手不足であり、受注等の増加に対応できない状況が続いているため、状況は変わっていない。	

	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・同業者の状況から判断すると、販売促進活動を工夫しているがなかなか成約に結び付いていない。3月は日常業務に追われ、新しい活動に取り組む余裕が少ないのも原因の一つではある。
	経営コンサルタント（社員）	受注価格や販売価格の動き	・消費税を気にしている客の購買が相変わらず悪い。
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・年明けから日照時間が長く、葉菜類を中心に例年よりも単価が安い。3月は稼ぎ時であるため、この時期の安値は農家に与えるダメージが大きい。
	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・食品の卸も行っているが、卸先の数も減っており景気が良いとは言えない。
	その他製造業（産業廃物処理業）	取引先の様子	・生製品の価格を下げるため、コスト削減に取り組んでいるが限界に近づいている。仕入価格が販売価格を上回るところもあり、厳しい現状である。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・2月度は食品、非食品共に消費財の受注が前年比大幅増であったが、3月に入り減少気味である。特に例年受注が伸びる掃除道具などの非食品が不調で、全体的に受注量が減少気味である。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・燃料価格上昇の影響により、運賃の値上げを要請されている。大手運送会社も値上げしており、今後物流経費は増える。2年前にも運送会社が一斉に値上げに転じ、当社も大きな損失を被った経験があり、荷主に対し転嫁できるかが課題となる。荷主側も苦しい状況であるので、簡単にはいかない。
	×	建設業（社員）	受注量や販売量の動き
	×	その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	競争相手の様子
雇用 関連 (九州)	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・企業の人手不足が高まり、直接雇用が急増している。有効求人倍率も高いことから、長期就業志向のある求職者を取り込みたい企業の思惑もあり、有期雇用ではなく無期雇用の求人数が増加している。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期での求人案件が増加傾向である。
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・直接雇用の求人数が前月に引き続き増えている。既存の派遣社員の4月からの料金改定の申し入れをした結果、予想以上に多くの企業が改定してくれた。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・熊本地震により営業停止や縮小を余儀なくされていた郊外のショッピングセンターやスーパーマーケット、各施設等が順次新規開店しており、それに合わせて人の動きや購買意欲も活発化している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比10%減で、過去最高だった先月の反動で前月比18.4%減の大幅減となった。卸売・小売業及びサービス業の減少が大きく影響した。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・求人依頼が継続的に入ってきている。
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・同業他社の求人取扱件数も減少傾向である。当社も前年割れで推移している。一方で業界最大手の寡占化が進んでいる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・大学生の就職活動が始まり、企業は早い段階で内定を出して人材の確保をしたいようだ。景気が良いというより、人手不足や残業規制等の雇用形態の変化への対応を迫られてという状況である。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・当県の平成29年1月の有効求人倍率は1.33倍と前月比0.05ポイント増である。有効求人倍率は22か月連続で1倍台を維持している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数全体が、前年比、前月比共に伸びている。特に電気機械器具や食料品の製造業、建設業の伸びが大きい。景気の動向というよりも、熊本地震の復興に伴うものである。
	職業安定所（職業紹介）	求人数の動き	・引き続き求人数は増加しており、管内の有効求人倍率が全国平均を5か月連続で上回っている。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数は前年同期比で5%以上増加した。一方で価格改定は厳しい。

	学校 [大学] (就職支援業務)	求人数の動き	・ 2018年度卒業生の採用に向けた求人票の受案件数は、前年と比較し若干増加しており、来訪企業数も増加している。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・ 売手市場で求人数と求職者数のバランスが取れていない。
	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・ 企業の増員ではなく、派遣社員の交代案件が多い。逆に社員の欠員を補充しないまま動くところもあり、どちらかというと悪くなっている。
x	-	-	-